

令和2年度 三木市下水道事業会計決算のあらまし

～ 快適な市民生活をめざして～

下水道は、快適な市民生活に必要で大切な公共施設です。また、下水道の整備により、住環境の改善や河川などの水質保全が図られています。

下水道事業は、下水道使用料と一般会計からの繰入金を収入として運営しています。このたびは、令和2年度の決算状況をお知らせします。

【普及・汚水処理状況】

下水道を整備する計画を定めている区域内で整備できている割合(普及率)は98.3%、そのうち下水道管に接続している割合(水洗化率)は94.1%です。また、下水道の接続件数は、昨年度より499件(1.7%)増えたことにより、下水道へ排出される水量も、昨年度より14万8千 m^3 (1.9%)増加しました。

【財政状況(収益的収支)】

収入は、下水道へ排出される水量が増えたことに伴い下水道使用料が増加し、一般会計からの繰入金やその他の収入などにより、総額24億7,415万円となりました。

一方、支出は施設の建設改良などに要した借金の利息が減少するなど、総額22億6,968万円となり、その結果、収支は2億447万円の黒字となりました。

【下水道整備状況】

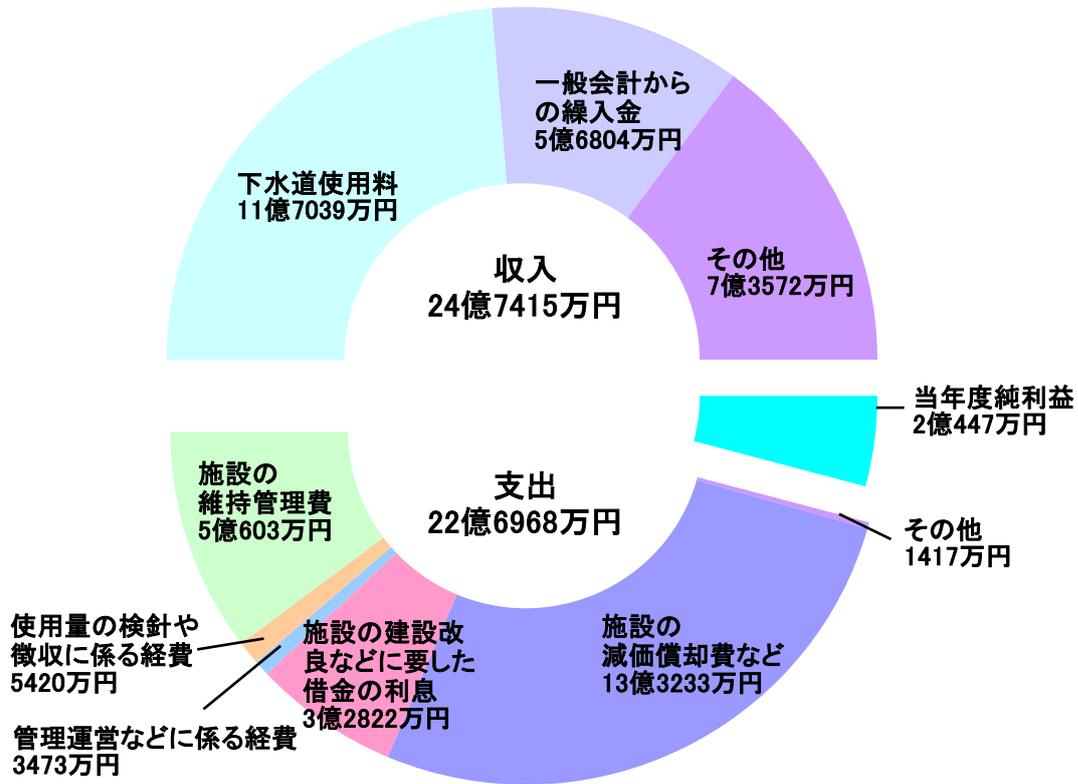
項 目	令和2年度	令和元年度	増 減	比 率(%)
行政区域内人口(人)	76,121	76,929	△ 808	98.9
整備計画区域内人口(人) A	70,255	70,920	△ 665	99.1
供用開始区域内人口(人) B	69,067	69,687	△ 620	99.1
水洗化人口(人) C	65,020	65,432	△ 412	99.4
汚水処理件数(件)	29,117	28,618	499	101.7
整備計画区域内普及率(%) B/A	98.3	98.3	0.0	100.0
水洗化率(%) C/B	94.1	93.9	0.2	100.2
有収水量(千 m^3) ※	7,785	7,637	148	101.9

※有収水量とは、処理場で処理した全ての水量のうち、雨水や地下水などを除いた下水道使用料収入の対象となる水量

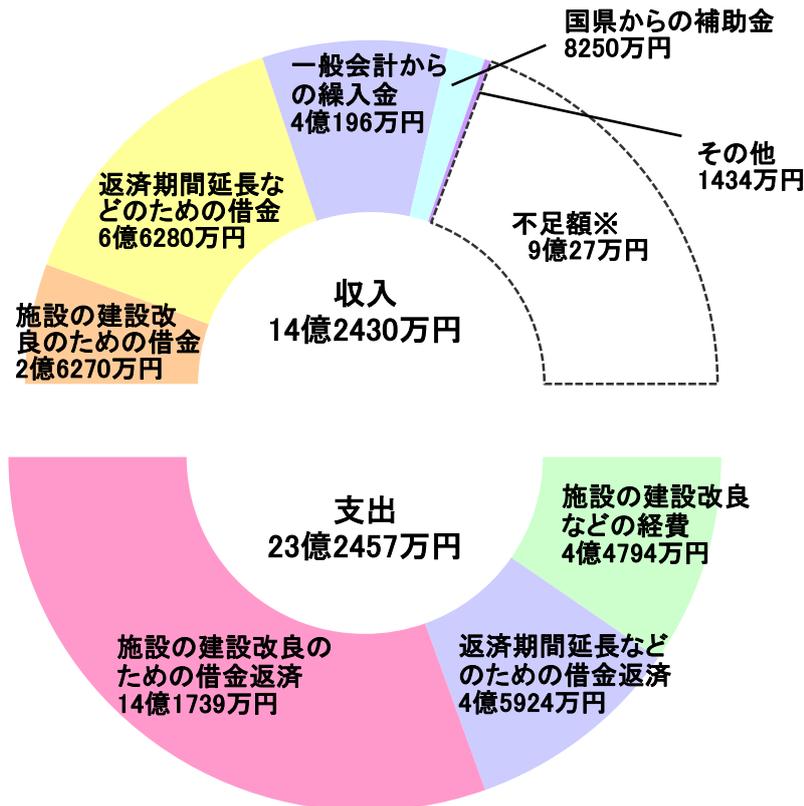
【お問い合わせ先】

三木市 上下水道部 下水道課 下水道業務係 1/3

【経営活動に伴う収入と支出（損益収支のため消費税等抜き表示）】



【施設整備に要する収入と支出（資本収支のため消費税等込み表示）】



※ 不足額は、施設の減価償却費などの内部留保資金などで補てんしました。

【貸借対照表】

